

令和元年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	大学・学校・地域連携型の学習支援活動のモデル事業
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 学校教育学系 准教授 堀健志
3 学外の連携機関等	(連携機関等名)(担当者職名・氏名等) <ul style="list-style-type: none"> ・上越市立城西中学校 学校長 佐藤 幹夫 ・いちょう食堂の会 会長 金子 光洋 ・南新町町内会 会長 大島 喜七郎 ほか
4 事業の趣旨・目的	<p>本事業は、大学教員と学生が学校や地域住民と手を取り合い、塾に通わない／通うことができない子どもの学習を支援するための活動を、地域に根ざしたかたちで展開することを目的としている。こうした学習支援活動は、無償のボランティアとしてこれを位置づけるかぎり、志のある学生に、生活のためのアルバイトをするか、それとも、子どもや社会の役に立つボランティアをするかという二律背反的なジレンマを突きつけることになりかねない。そこで、学習支援活動を本学の地域貢献事業として位置づけることによって多少なりとも有償化することで、志のある学生たちの参加を阻んでいる障壁を少しでも取り除き、地域に根ざした学習支援活動の安定的な継続を狙っている。</p>
5 事業活動報告	<p>いちょう食堂の会および上越市立城西中学校と連携しながら、合計25日にわたって学習会を開催した。</p> <p>7月 南三世代交流プラザで学習会の開催(2日) 8月 南三世代交流プラザで学習会の開催(2日) 9月 南三世代交流プラザ・城西中学校で学習会の開催(3日) 10月 南三世代交流プラザ・城西中学校で学習会の開催(3日) 11月 南三世代交流プラザ・城西中学校で学習会の開催(5日) 12月 南三世代交流プラザ・城西中学校で学習会の開催(3日) 1月 南三世代交流プラザ・城西中学校で学習会の開催(3日) 2月 南三世代交流プラザ・城西中学校で学習会の開催(4日)</p> <p>新型コロナウイルスの感染予防のため、2月および3月に開催予定であった学習会は各1日ずつ不開催とした。</p> <p>なお、開催日数の計上にあたっては、学生にボランティア謝金を支払わなかったものについては含めなかった。これを支払わなかった理由は、予算執行の手続きの上では教員による学生の出勤・勤務状況の確認が必要なところ、教員の都合をあわせることができず、その確認を行うことができなかったためである。</p>

<p>6 本事業で得られた 成果</p>	<p>無償ボランティアとして行われていた一昨年度には、学習会を毎週のように開催することは困難であったが、昨年度からは本事業の助成を受けることで、学習支援活動を有償化することが可能となり、その結果として、学習会を継続的かつ安定的に開催することが可能になっている。また、活動の認知度が高まったこともあり、今年度から新たに参加するようになった者も少なくなく、そのなかには、外国籍の子どもやひとり親家庭のもとで育つ子どもたちがいる。必ずしも十分であるとは言えないまでも、城西中学校および南本町小学校学区に居住する、非通塾児童・生徒の学習を支援することができていると評価することができるであろう。また、それだけではなく、小学生や中学生にとって、大学生が身近なロールモデルとなる可能性があり、健全育成上のメリットがあるとも考えられる。児童や生徒たちからはもちろんのこと、城西中学校や地域住民、保護者からも感謝されている。</p>
<p>7 その他 <small>(成果物等の名称)</small></p>	